

市長との約束 2025



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

総務部理事(財政担当)

宮野 学

約束内容	持続可能な財政運営に向けた取り組み
達成目標	安定した財政基盤を確保しながら、人口減少や少子高齢化に対応した地方創生の推進や、新たな政策課題に取り組んでいくため、財政調整基金への依存度を引き下げる取り組みを進め、歳入に見合った歳出規模への転換を図ります。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	行動計画に掲げた内容について総合的に取り組み、「行財政運営の改革に向けた基本方針」に掲げた短期ミッションである財政調整基金への依存度を引き下げることができたと考えています。一方で、まだ財政状況に余裕はないので、歳出削減によるインセンティブについては、次年度以降の課題として捉えています。 【財政調整基金の投入額】 R 6 当初 28億9千万円 R 7 当初 14億8千万円 R 8 当初 7億5千万円⇒6億円（第1号補正後）

約束内容	公共施設の維持管理経費の縮減
達成目標	公共施設の維持管理経費縮減のため、次の取り組みを進めます。 ①新電力の導入によるコスト削減 ②市有施設を活用した財源の確保 （自動販売機の公募拡大、提案型ネーミングライツの実施） ③公共施設見直しのための公会計に基づく施設のコスト計算 ④施設の維持管理に係る包括業務委託の検討 ⑤条件の悪い普通財産（遊休資産）の販売促進策の検討
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	公共施設の維持管理経費縮減のため、以下のとおり取り組みましたが道半ばです。次年度は、開館時間の変更などにも取り組みます。 ①新電力の導入によるコスト削減⇒R 8 プロポ、東庁舎から導入 ②市有施設を活用した財源の確保⇒自動販売機の公募拡大、提案型ネーミングライツ事業（公募3件、提案1件） ③公共施設見直しのための施設のコスト計算⇒年度末に完了 ④施設の維持管理に係る包括業務委託の検討 ⇒人件費や物価高騰により、優位性が見い出せず保留 ⑤条件の悪い普通財産（遊休資産）の販売促進策の検討 ⇒行政診断の結果を踏まえ、R 8 に検討

約束内容	入札・契約事務の適正化に向けた取り組み
達成目標	<p>より適正な入札・契約制度確立のため、改善策の具現化に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①業者登録の I C T 化に向けたシステム導入 ②建設関連業務の総合評価落札方式の導入検討 ③予定価格の事前公表の見直し ④電子入札の導入検討 ⑤職員のスキルアップ研修の実施
達成度	<p>B 概ね目標どおり達成 ★★★★★</p>
達成状況	<p>適正な入札・契約制度確立のため、以下のとおり取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①業者登録の I C T 化に向けたシステム導入 ⇒R 8 導入 ②建設関連業務の総合評価落札方式の導入検討 ⇒議会や建親会から出されている要望への対応を優先 ③予定価格の事前公表の見直し ⇒今年度は案件が 2 件のみ。次年度は判断材料を増やして判断 ④電子入札の導入検討⇒大崎市民病院の先行事例を踏まえ、近隣市町村の視察を実施し、継続して取り組んでいる。 ⑤職員のスキルアップ研修の実施⇒5月に実施済、10月の予算編成説明会においても、間違いやすいポイントなどを説明